



えがお 愛顔つなぐえひめ国体

Basketball



このコーナーでは、2017年（平成29年）9月30日（土）～10月10日（火）に開催される第72回国民体育大会「えがお 愛顔つなぐえひめ国体」の、宇和島市で開催される競技（正式競技：4競技、特別競技：1競技、デモンストレーションスポーツ：1種目）を会期順に紹介していきます。第2回は、正式競技の「バスケットボール（少年男子）」です。



競技説明

1チーム5人の選手が、パスやドリブルを駆使しながらボールを進め、相手のバスケットゴールにシュートして得点を競います。得点は、スリーポイントラインの外側からが3点、内側からが2点、フリースローは1投成功ごとに1点です。国体ではトーナメント方式によって試合が行われ、1試合4ピリオド（1ピリオド10分）で、第4ピリオドを終えた時点で得点の多いチームが勝ちです。第4ピリオドを終えて同点の場合は、1回5分の延長戦を勝敗が決定するまで行います。相手をかわすドリブルやフェイント、正確なシュートなどの

宇和島市 開催競技紹介

その2

バスケットボール （少年男子）

会 期：2017年10月1日（日）～4日（水）

会 場：鬼北総合公園体育館
※鬼北町と共催。

参加都道府県数：12

参加数：156人

※参加各都道府県から監督1人、選手12人が正式に登録されます。

高度なテクニックはもちろん、攻守の入れ替わりが非常に早く、スピーディーなパス回しが繰り広げられる試合展開からは目が離せません。



エール！

— 国体出場を目指す皆さんへ —



水崎 栄貴 さん（元国体選手／市職員）

大学卒業後、成年男子の部で10年間選手として活動させていただき、6度の国体に出場しました。

当初は四国予選を突破することができず、4年に1度の全都道府県が出場できる機会に、初めて愛媛県代表として埼玉国体（2004年）に出場しました。私が特に印象に残っ

ているのが、初めて四国予選を突破して出場した岡山国体（2005年）、悲願の全国1勝を達成した大分国体（2008年）です。

また、国体出場を目指して活動する中で、職場の同僚をはじめ、家族やチームメートなど多くの人に助けていただきながら、競技を続けられたことにとても感謝しています。国体出場を目指す選手の皆さん、周囲への感謝の気持ちを忘れることなく、地元での国体出場が実現できるよう頑張ってください。

最後に、宇和島での国体開催にあたり、多くの人にご来場いただき、えひめ国体が盛り上がることを期待しています。

▷国体の前年（平成28年）には競技会運営能力向上などを目的に、同じ会場でリハーサル大会が開催されます。バスケットボールは、全日本教員バスケットボール選手権大会を開催予定です。※次回は、広報うわじま10月号に掲載します。

< 問合せ先 >

えがお 愛顔つなぐえひめ国体宇和島市実行委員会事務局
（国体推進課内） ☎49-7087

<http://www.ehimekokutai-uwajima.jp/>